

行動的政策集団〔未来〕

活動報告

(令和四年二月版)

谷口市長と

「津山の未来を語る懇談会」特集

「いあごん」

津山市民の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。本年もよろしくお願いたします。

新しい年の始まりに当り、私達行動的政策集団未来の活動報告をご覧いただきたいと思っております。会派「未来」は、津山市議会の中に結成された会派の一つです。私達は、常に行動し研鑽を重ねながら、津山市の未来に資する為の政策提言を行うことを目指しています。津山市民の皆様方からお寄せいただく声にしっかりと耳を傾けながら、そのことに取り組んでいきたいと考えていますので、変わらぬご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

市長との懇談会

さて、現在の世界情勢は地球温暖化への警鐘が彼方此方で鳴らされ、カーボンニュートラルなどエネルギー利用に関する大きな変革が、地球規模で求められています。その動きと呼応するように、より持続可能で公正な経済システムの構築に向けたグレートリセットがタボス会議の議題となるなど、社会経済情勢も大きく変革しようとしています。さらに、明確なコロナ禍の収束の兆しは未だ見え、人々の生活様式は「新たな日常」が浸透し、以前とは様変わりした感があります。

懇談会の内容

政岡代表 本日は、よろしくお願いたします。

谷口市長 こちらこそ、よろしくお願いたします。

政岡代表 さて、今回は市長の来期に向けた思いや考えをお聴きしながら、私達の考える津山の未来のための施策実施の方向性についても耳を傾けていただき、よりよい方向性を探るための意見交換をさせていただければと思っております。それでは、まず中島副議長からお話ください。

中島副議長 私は、本市の将来像として「健康」をキーワードとしてレジリエンス都市のようなものを目指すことが、効果的な取り組みであると思っております。やはり、これからの少子高齢化社会を考えると、健康という視点は重要であると思っております。

谷口市長 私も、その視点は重要であると考えています。既に、未来戦略ダイレクターなどと相談しており、高齢化社会であっても、健康な人が増えるまちづくりを描いています。

竹内議員 その二つとして、口腔ケアというものがあると思っております。このことは、医療費の削減にも結びつきます。

谷口市長 そうですね。多様な角度から考える必要がありますね。

村上議員 私は、美術館構想についてお

尋ねたいと思います。単に箱ものを作るという発想ではなく、今あるものを活かして上手に宣伝していくような取り組みが必要だと思っております。

谷口市長 津山市には、たくさんさんの歴史文化資源があります。それらを活かして、街中全体が博物館というような感じにしたいと考えています。当然ですが、財政再建に注力しなければなりませんから、既存の文化的施設を活かすということが大切になると思っております。

高橋議員 具体的には、城東・城西の歴史文化資源の活用があると思っております。特に、城西では駐車場という課題も見えます。また、代表が常々述べていますが、私達の共通意識として「人さえ良ければ」という視点があります。

やはり、教育施策は最重要課題の一つだと思っております。ICTに関する環境整備、教育現場への質・量両面からの支援策などが求められると思っております。

谷口市長 重伝建としての城東・城西に関する課題抽出と効果的な整備を実施していきたいと思っております。一方、教育に関しては現在の教育長のもとで成果が上がっていると思っております。ICT環境の整備や関わる教職員に対する手厚いサポートに取り組んでいきたいと考えています。

勝浦議員 現在、自治会活動などにおけるジェネレーションギャップというのどうでしょうか、上の世代と下の世代の意思疎通がうまく図られていないところが多いのではないのでしょうか。

また、若い世代の無関心というの、政治離れなどの問題もあると思っております。そのような中で、行政の職員における資質向上や、機構改革への取り組みが重要だと思っております。

さらに、既存の工業団地等が一杯になつていく状況で、新たな場所が必要なのではないでしょうか。

谷口市長 そうですね。政治に対する関心は、若い人達にはすごく関心の強い人と、どちらかというと無関心な人という風に、両極化しているような印象を受けます。それでもよく聴いてみると、問題意識を持っている人は多いと思っております。どのように意識づけしていくのかということだと思います。

職員に関しては、全体的な資質向上を図りたいと考えています。高いスキルを備えることにより、担当部署の移動などにも素早く適応できるような取り組みです。そして、そのようなレベルアップされた組織から、効果的な情報発信が行われるようにしていきたいと考えています。

竹内議員 例えば、電力需要への対応を考慮した整備や、蓄電という視点からのアプローチも必要かと思っております。

谷口市長 そうですね。多様な視点からの検討が必要だと思っております。

政岡代表 やはり、私としては津山市独自の取り組みをしていく必要があると思っております。特に、津山の歴史と文化を活かすことです。そのために、地域と学校が一体となり人づくりをしていくことが求められます。さらには、公正で適切な人事に基づき、行政の機構改革に取り組んでいただきたいと思っております。

谷口市長 その為の施策として、コミュニティスクールに関する取り組みが厚い支援をいただけるなど、他都市に先駆けて取り組みを予定しています。教育という視点では、しっかりと道徳観の醸成などということも大切だと考えています。そのうえで、効果的な施策実施のために、職員の資質向上と機構改革にしっかりと取り組んでいくつもりです。

この他にも、農林業振興など取り組みまなければならない課題は、たくさんあります。特に、農林業施策に関しては、生業とする考え方や多面的機能などの視点からの支援という二つの





方向性を考える必要もあるかと思
います。

中島副議長 議会で、他都市の動向や事
例などに囚われず、施策実施に関す
る答弁を期待しています。

谷口市長 しっかりと、心がけていきたいと
思います。

政岡代表 まだまだ、お話し尽きないと
ころですが、時間の制約もあります。
最後に谷口市長から、これからの津山
市の方向性について語っていただき、懇
談会を終了したいと思います。

谷口市長 本日は、貴重なご意見を聴
かせていただき、ありがとうございました。
また、明るい津山の未来のために、何
ができるのかを真剣に考えていくとい
う点では、皆様方と志は同じだと思
います。

二期目に向けた詳細な施策につ
いては、改めてお話しすることになら
ないと思いますが、本日もお話しして
いただき、ありがとうございます。
また、明るい津山の未来のために、何
ができるのかを真剣に考えていくとい
う点では、皆様方と志は同じだと思
います。

おわりに(定数削減)

現在、津山市議会では、議員会議の場
で定数削減の議論が行われています。依然
として、削減すべしという意見と、反対す
る意見が拮抗していますが、会派未来と
しては四名削減を強く主張し、積極的に
議論に参加しています。

また、次回の選挙に反映させるため
には、この三月議会までに議決する必要が
あります。何よりも、私は多くの市民から
の削減を求めるたくさんの声を聞いてい
ます。しっかりと、取り組んでいきたいと考
えています。市民の皆様におかれましては、
議会における議論の行方を、十分に注視
していただくようお願いいたします。

この他にも、私は適正な議会運営の
あり方について、皆で話し合いながら積極
的な改革に取り組んでいます。また、本会
議や委員会における品位の確保などにも
取り組んでいます。

これからも、さらなる資質向上につとめ、津
山市の将来に資するための、効果的な施策実
施の実現に取り組んでいきたいと思
います。今後とも、一層のご指導・ご鞭撻をいた
だきますよう、よろしくお願いいた
します。

会派メンバー連絡先

活気ある津山(未来志向改革)
政岡 哲弘 (党執行責任者)
津山市 津山町 2-1-2
事務所 0566-23-0100
メール mtsakigae@city.tsu.yamaguchi.jp

中島 完一 (副議長)
津山市 津山町 2-7-7
事務所 0566-23-0100
メール kanon@city.tsu.yamaguchi.jp

**津山を愛し、
おもいやり**の政治を!
竹内 邦彦
津山市 津山町 2-1-2
事務所 0566-23-0100
メール onouchi@city.tsu.yamaguchi.jp

生き、活き！ハツラツ 誠実!
村上 祐二
津山市 津山町 2-1-2
事務所 0566-23-0100
メール murakami@city.tsu.yamaguchi.jp

**笑顔あふれる津山へ
津山の底力**を信じて!
高橋 寿治
津山市 津山町 2-1-2
事務所 0566-23-0100
メール takahashi@city.tsu.yamaguchi.jp

市民の暮らしにコミット!!
勝浦 正樹
津山市 津山町 2-1-2
事務所 0566-23-0100
メール katsuura@city.tsu.yamaguchi.jp

議会報告

令和三年度の質問事例(要旨)

来年の市長選出馬は(九月議会中島完一)

問 谷口市長の期日は災害対応に多くの
時間と予算を割かなければ、来々早々には
いやや不運な面もあつたが、来年早々には
市長選挙を控へ、再度市民に審判を仰がな
ければならない。市長の津山の未来にかけ
る意気込みと津山の将来についての展望はど
うか。

答 第五総合計画の中期実施計画の1年
前倒しや昨年2月に策定した第2期まちひ
ととして創生総合戦略の推進によって、新
な視点を取り入れながら少子高齢化や人口
減少といった課題に対応を進めてきたが、県
北の拠点都市津山の再興を掲げ、市政の舵取
り役を担った私の期待と負託にお応えする
道は、また道半ばである。住民の皆様にも
託を再度いただけたら、これまでの取組を
継続、また発展させ、感染症の影響により新
たに顕在化した様々な課題の解決にも、
先頭に立ち、携わり、すべての住民が郷土に誇
りと愛着をもつ、便利で快適な暮らしを送
ることができ、津山を創造していきたい。
RXの推進と人づくり(十二月議会政岡哲弘)
問 津山市が将来にわたって県北の拠点都市
として輝き続けるため、RX(地域のトラス
フォーメーション)という経産省による取り組
みを示し、津山市独自の施策をよその都市
に先駆けて、実施していくべきでは。さらに、
そのために必要な行政の機構改革や人材育
成のあり方と、地域と学校が一体となつて取
り組む人づくりの大切さについて。
答 有効な手段であり、RXの動きを将来
のために発想の転換や、意識改革を必要と
する大きな分岐点と捉え、市全体として取
り組んでいく。また、職員が力を充分に発揮
し、組織力を最大限に高めることができる
よう、人材育成と組織強化を図りたい。
さらに、地域の将来を担う人材の育成
は、本市の学校教育の使命であるという考
えのもと、地域と一体となつて人づくりを
進めるために、コミュニティスクール導入
を着実に実行していきたい。
稼ぐ津山市・環境問題(村上祐二)
一稼ぐ津山市へ
問 現在ネーミングライツは「サッカーラ
グビー場とテニスコート」の所で「ワイドシ
ステム」に決定し、今年度から五年契約で
年間五百万円(税抜き)の財源確保となつ
た。そこで更なるネーミングライツの追加に
ついて、金額的に期待出来る「津山文化セ
ンター」と「ベルホール津山」はどうか。
答 「津山文化センター」と「ベルホール津
山」は、長年に渡り市民に愛され使用され
てきた本市を代表する文化施設であるが、
利便性の配慮もしながらネーミングライツ
の趣旨を踏まえて検討したい。
二 環境問題
問 可燃ごみを週三日収集している約半数
の地区で、収集日間隔が「月・水とか水・金」
のように(中・日・中・日)である。不公平の
解消・利便性の向上のため、(中・日・中・三
日)とならぬか。
答 収集日の変更は、ルート上の収集場所
全てに影響が及ぶ。よって地域における取
集目を一体的に変更する必要があるが、実
施の可能性について検討してみたい。
市営住宅関連(竹内邦彦)
問 小原市営住宅の今後と周辺整備に関し
て、過去の議会答弁では、入居率約四十二、
二十六棟が残り、更に四棟を除去すべく建
物調査を行うとのことであった。現在の状況
と周辺整備の考えと、小原市営住宅の跡地
利用はどのように考えているのか。
答 耐用年数が超過している市営住宅につ
いては、安全上の観点から政策空き家とし、

現在入居されている方には転居をお願いし
ている。周辺整備に関しては、当該地域の課
目道は幅員が狭く、長年にわたる地域の課
題となっている。この度、市道側の建物二棟
を解体し、その用地を活用して応急的な選
遊場所の整備に取り組み考えている。跡地
利用については、立地適正化計画において居
住誘導区域に整理されており、住宅地とし
て再形成されることが望ましい。
評(竹内) 私としては、初当選以来、地元神
楽尾城跡公園を津山市の観光スポットと
捉え、これらにアクセサする小原市営住宅
沿いの市道改良を訴えて来た。多少ではあ
るが、進展したと感している。
農業に関する質問(十二月議会高橋寿治)
問 農業を効率的、効果的に経営をしよう
とするためには構造改善された圃場と農
地の集積が必要と思われる。しかし、この
問題は一朝一夕におこなえるものではないこ
とも理解できるが、年齢的に耕作できず、
後継者のいない地域であり、かつ、必要な農
地面積があれば、可能性は大きくないと考
えられる。地域的な問題は大きい、農地
集積の適地と考えられる地域を農林部で
は把握されているかと思うがどうか。
答 現在、農林部で農地集積の適地としての
リスト化まではできていないが、構造改善事
業等を検討されている地区などに関しましては、
職員が外向いて事業の説明や要望をお聞き
して、今後とも引き続きこうした取り組
みを進めて参りたい。
評(高橋) 一部職員が出向いての説明会をさ
れているところは評価できるが、これも地域か
らの要望によるもので、決して積極的とはい
えないと思うので、さらなる努力を求めたい。
若者の政治離れと自治会活動(勝浦正樹)
問 現在、自治会活動などにおける「ゼネレ
ーションギャップ」はどうか。上の世代と下の世代
の意思疎通がうまく図られていない状況を見
かける。いの世も世代間により価値観は異
なるが、少子高齢化社会において、現状の若い
世代にみられる無関心は地域活動の希薄化
に危機感を感じる。やはり、行政主導による地
域の底上げが必要だと思ふがどうか。また、
それを行う職員資質向上が不可欠では。
答 耳を傾ければ、若い人の中にも政治や
地域活動に関心を持つ人は多い。効果的な
意識づけをしていきたい。また、職員全体の
資質向上を図り、多様な課題に素早く対
応できるようにしていきたい。例えば、担当
部署が変わっても素早く適応できるように
取り組んでほしい。そのうえで、市役所全体
として効果的な情報発信が行えるよう
に行きたい。